

**神奈川県漁港施設（三崎漁港）本港特別泊地・本港環境整備施設の  
指定管理者候補(案)について**

神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会 審査結果(指定管理者候補(案))	スバル興業株式会社
--	-----------

**1 神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会審査結果**

**<評価点>**

団体名(所在地)	選定基準別点数			合計点
	サービスの向上	経費の節減	団体の業務遂行能力	
株式会社三浦海業公社(三浦市)	34.1	14.0	12.5	60.6
スバル興業株式会社(横浜市)	34.4	18.0	14.8	67.2

**<審査講評>**

委員5人による協議により委員会としての評価を行った結果、株式会社三浦海業公社は、地域との連携に優れているが、合計点においてスバル興業株式会社の評価点は67.2点、株式会社三浦海業公社は60.6点となり、スバル興業株式会社の評価点が高く、県の求める業務水準を満たしていると判断して最優秀提案者となった。

〔スバル興業株式会社について〕

優れていると評価した中には、次のようなものがあった。

施設の設置目的に沿った適切な管理運営が見込まれる。

応募者の培ってきた公共施設の維持管理や清掃業務とともに、マリーナ管理運営、映画興行・飲食業・不動産業などのサービス業での経験を活かしての施設の維持管理及び利用者への対応が期待できる。

利用料金についての提案では、ゲストバースの平日利用を促進することを目的に、平日割引料金の設定を提案しており、駐車場利用料金は、「EVイニシアティブかながわ」による電気自動車（EV）駐車場料金50%割引の設定を提案するなど、具体的な提案があり、評価できる。

レンタルサイクルなど自主事業については、あらたな展開が期待でき、評価できる。

安全管理・災害対策、接客・サービス等スタッフへの研修が計画的に実施される点は評価できる。

経費については、具体的に積算して節減に努める点は評価できる。

接客・サービス、災害対策等の研修を計画的に行う点は評価できる。

財政的な能力はあると判断できる。

一方、委員からは、次のような意見も出された。

施設の維持管理については、スタッフを時間単位（パートタイム）で配置するなど、工夫するとのことであるが、現在は、現場事務所を有さないため、スムーズな管理運営や自主事業の実現可能性について疑問が残る。

地元関係者との調整、連携等が十分にとれるかは、未知数である。

〔株式会社三浦海業公社について〕

優れていると評価した中には、次のようなものがあった。

三崎フィッシャリーナウォーフと一体的な施設としてサービス向上、効率的運営及び相乗効果による集客増が期待できる。

当該法人が、三崎地域の活性化の目的で、県・市・民間が出資して作られ、ゲストバースの設置に当たっては、試行の開始段階から関与しており、地元漁業者との信頼関係も築かれている。

施設の維持管理等に関し、近くに住む従業員が対応できる。

緊急時には、従業員のほとんどが市内在住であるため、即応体制ができています。

一方、委員会からは次の意見も出された。

従前より指定管理者としてこの施設の管理に関する業務を行っており、現在も良好に行っていることは理解できるが、今後同様の管理に関する業務を行っていくのか、或いは新たな視点で行っていくのか、明確になっておらず、また、利用料金、自主事業について、具体的な提案がされていない。

委託は行わず、すべて自社で業務を行うとのことであるが、その効果について明確な説明がなく、積極的な評価ができない。

自社の経理状況について分析が不十分で、経費削減についても具体的な提案ができていない。

社内教育がOJTのみで、積極的な取り組み姿勢が見られない。

公募の趣旨を理解せず、現状維持のみで新しい提案がみられない。

## 2 神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会審査結果に対する環境農政局意見 (三崎漁港)本港特別泊地・本港環境整備施設

審査結果について	賛同する
<p>神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会の審査結果を確認したところ、スバル興業株式会社は、次点である株式会社三浦海業公社に比べて総合点が高く、管理経費の削減及び団体の業務遂行能力が高く評価され、最優秀提案者とされている。</p> <p>サービスの向上についても本港特別泊地の平日利用を促進することを目的に、平日割引料金や、本港環境整備施設の駐車場利用料金でも「EVイニシアティブかながわ」による電気自動車（EV）の駐車場料金50%割引の設定を提案するなど、具体的な提案がされている。</p> <p>さらに経営上も問題なく、経営内容も優良で、指定管理者候補としてふさわしいと判断する。</p> <p>なお、株式会社三浦海業公社は、地域との連携が高く評価されたが、管理経費の削減の努力や団体の業務遂行能力の点について、スバル興業株式会社には及ばなかった。</p> <p>ただし、スバル興業株式会社については、委員会で「地元関係者との調整、連携等が十分にとれるかは、未知数である」との意見があったことから、特に緊急時・災害時の対応について、基本協定等締結時には、具体案を示すよう求める必要がある。</p>	

